

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日	校長名	所在地																																											
龍馬デザイン・ビューティ専門学校		平成4年2月17日	永橋 正至	〒780-0935 高知県高知市旭町2-22-58 (電話) 088-875-0099																																											
設置者名		設立認可年月日	代表者名	所在地																																											
学校法人龍馬学園		平成1年3月23日	佐竹 新市	〒780-0056 高知県高知市北本町1-12-6 (電話) 088-825-0077																																											
分野	認定課程名	認定学科名		専門士	高度専門士																																										
文化・教養	文化・教養関係専門課程	グラフィックデザイン科		平成22年文部科学省告示第153号	-																																										
<b>学科の目的</b> マーケティングのシーンでは、顧客に「いかに買いたいと思ってもらうか?」という消費者側の視点が必要不可欠であり、そこには必ず視覚的に情報を伝える広告の効果求められる。本学科では、創造力、企画力、デザイン力、プレゼン力を備え、実社会で効果的な広告制作が出来るグラフィックデザイナーの養成を目的としている。																																															
認定年月日 平成 26年 3月 31日																																															
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																																								
2年	昼間	1977時間	300時間	169時間	1508時間	0時間	0時間																																								
<table border="1"> <tr> <td>生徒総定員</td> <td>生徒実員</td> <td>留学生数(生徒実員の内)</td> <td>専任教員数</td> <td>兼任教員数</td> <td colspan="3">総教員数</td> </tr> <tr> <td>80</td> <td>85人</td> <td>0人</td> <td>3人</td> <td>8人</td> <td colspan="3">11人</td> </tr> </table>								生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数			80	85人	0人	3人	8人	11人																										
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																																										
80	85人	0人	3人	8人	11人																																										
学期制度	■前期:4月1日～8月31日 ■後期:9月1日～3月31日			成績評価		■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 実技課程60点以上 学期末試験60点以上																																									
長期休み	■学年始:4月1日 ■夏季:7月22日～8月25日 ■冬季:12月22日～1月5日 ■学年末:3月31日			卒業・進級条件		各授業科目に係る出席時数が実授業時間数の10分の9以上かつ各授業科目100点を満点とし60点以上であること																																									
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 保護者を交えた面談及び連絡			課外活動		■課外活動の種類 (例)学生自治組織・ボランティア・学園祭等の実行委員会等 地域イベント等にボランティア参加  ■サークル活動: 無																																									
就職等の状況※2	■主な就職先、業界等(令和3年度卒業生) デザイン業界・一般職  ■就職指導内容 全体では各学期ごとに研修を実施。担任は随時学生の動向を把握しながら個別面接指導を行っている。 ■卒業者数 : 40 人 ■就職希望者数 : 33 人 ■就職者数 : 33 人 ■就職率 : 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 83 % ■その他 進学希望 4名 就職勧誘辞退 3名 休学 1名			■主な学修成果(資格・検定等)※3  <table border="1"> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種別</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> <tr> <td>色彩検定3級</td> <td>③</td> <td>43</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>色彩検定2級</td> <td>③</td> <td>14</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>色彩検定1級</td> <td>③</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>色彩検定UC級</td> <td>③</td> <td>5</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>Illustratorクリエイター能力認定試験(応用)</td> <td>③</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>Illustratorクリエイター能力認定試験(応用)</td> <td>③</td> <td>42</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>Photoshopクリエイター能力認定試験(応用)</td> <td>③</td> <td>42</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>秘書検定検定試験2級</td> <td>③</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td>③</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	色彩検定3級	③	43	31	色彩検定2級	③	14	7	色彩検定1級	③	1	1	色彩検定UC級	③	5	3	Illustratorクリエイター能力認定試験(応用)	③	1	0	Illustratorクリエイター能力認定試験(応用)	③	42	17	Photoshopクリエイター能力認定試験(応用)	③	42	3	秘書検定検定試験2級	③	1	1		③			■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和3年度卒業生に関する令和4年5月1日時点の情報)	
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																																												
色彩検定3級	③	43	31																																												
色彩検定2級	③	14	7																																												
色彩検定1級	③	1	1																																												
色彩検定UC級	③	5	3																																												
Illustratorクリエイター能力認定試験(応用)	③	1	0																																												
Illustratorクリエイター能力認定試験(応用)	③	42	17																																												
Photoshopクリエイター能力認定試験(応用)	③	42	3																																												
秘書検定検定試験2級	③	1	1																																												
	③																																														
中途退学の現状	■中途退学者 3 名 令和4年4月1日時点において、85名(令和3年4月1日入学者を含む) 令和5年3月31日時点において、82名(令和4年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 体調不良により登校が困難なため。大人数の場所での学習が困難なため。			■中退率 3.5 %		※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当する記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等)																																									
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ※有の場合、制度内容を記入 ◆龍馬学園奨学金、資格・検定等特待生授業料免除、日本支援機構奨学金  ■専門実践教育訓練給付: 給付対象・非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載																																														
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)																																														
当該学科のホームページURL	<a href="https://www.rvoma.ac.jp/cid/course/graphic.html">https://www.rvoma.ac.jp/cid/course/graphic.html</a>																																														

(留意事項)

- 公表年月日(※1)  
最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください
- 就職等の状況(※2)  
「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業生の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。  
(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について  
①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。  
②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。  
③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。  
※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年度に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。  
(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について  
①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。  
②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。  
③上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況
- 主な学修成果(※3)  
認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1. 「専攻分野に関する企業、団体等（以下「企業等」という。）との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

グラフィックデザイン科では、広告制作やプレゼンテーションのできるグラフィックデザイナーを養成することを教育目的としており、デザイン業界の専門性の動向、新たな技術動向に関する知識・技術について、関係者からの意見等を十分に反映して、より実践的な授業科目、授業の内容・方法の改善を図っていく方針である。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

別添の「国際デザイン・ビューティカレッジ組織規定」のとおり、教育課程編成委員会（以下「委員会」という）は、校長直轄の組織として設置しており、カリキュラム改善に対する意見を企業等の役職員及び有識者から聴取し、これを基に校長以下、マンガ科の担当でカリキュラムの改善について検討し、次年度に向け改善を図っていくこととしている。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和2年5月1日現在

名 前	所 属	任 期	種 別
永橋 正至	校長	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年間)	
大久保 光洋	副校長兼事務局長	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年間)	
岩神 義宏	教務部長	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年間)	
藤原 史	教員	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年間)	
高橋 健太	monoAI technology株式会社	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年間)	③
高橋 和之	TCG土佐クリエイターズギルド運営委員長(グラフィックデザイン事務所 代表)	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年間)	①
山崎 肇	ゴーゴーデザイン事務所代表	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年間)	③

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員（1企業や関係施設の役職員は該当しません。）
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

年間2回開催 前期8月、後期2月

(開催日時)

第1回 令和4年7月29日(金)17:00～18:00

第2回 令和5年2月28日(金)17:00～18:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

意見交換で出た事案の中で、短期的・中期的・長期的に取り組むめそうな内容に精査し、可能なものから実際にカリキュラムに反映させた後、学生の意見もアンケート等で集約し改善を加えて行っている。

卒業生の講義や企業に出向いて、最新の印刷技術や工程の現場見学を行う。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

最近の技術動向を踏まえ、現場に必要な知識・技術を具体的に身に付けさせるため、出版社や企業へのヒアリング等を通じて重要項目や課題を抽出し、その結果にもとづいた解決・改善内容を実習や演習内容に反映できるよう出版社や企業と連携しながら計画を進める。また実習・演習等の実施後には出版社や企業及び学生からの報告を元に、その効果を検証しながら改善を図る。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

グラフィックデザイン科では、広告制作やプレゼンテーションのできるグラフィックデザイナーを養成することを教育目的としており、デザイン関係団体及デザイン関連企業の役職者等を教育課程編成委員会委員に選任し、デザイン業界の専門性の動向、新たな技術動向に関する知識・技術について、関係者からの意見等を十分に反映して、より実践的な授業科目、授業の内容・方法の改善を図っていく方針である。

(3) 具体的な連携の例 ※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
広告論・広告実習 C.I.実習	新聞や雑誌のオリジナル広告の企画書から実際にラフ・カンプ、ポスターを制作する。制作した広告物に対して講師と教員が協議しA～Dの4段階評価を行う。	ツヅキデザイン

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

学則施行細則の国際デザイン・ビューティカレッジ教職員研修規定により、本校が実施する研修は、①新任者研修、②管理職研修、③養成研修に分けて行われており、県内外の各科に関わる業界関係団体や、教育関係団体が主催する研修などに積極的に参加させている。研修等の参加に当たっては、校長又は部門の長が本人のキャリアや適性、意欲等を考慮し、また学校全体の状況等も踏まえ、戦略的に研修を計画している。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

- 日時: 2023年2月24日(金)9時30分～16時30分
- 講師: / 新村則人氏(アートディレクター・グラフィックデザイナー / 株garden代表)
- テーマ: グラフィックデザイナーの考え方・仕事のあり方について

② 指導力の修得・向上のための研修等

- 日時: 令和4年12月26日(月)13:00～15:30
- 講師: 福岡大学 人文学部 教育・臨床心理学科 教授 植上一希先生
- テーマ: 若者の「社会化」を支える専門学校

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

県内の業界・団体が出発する研修会等に参加  
令和5年11月屋外広告物講習会に参加予定  
令和6年2月アートディレクターによる講義と作品講評開催予定

② 指導力の修得・向上のための研修等

令和5年12月予定の教員研修  
(※受講内容 未定)

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

教育の質の向上につながる学校運営や教育活動の改善に関しては、短期的な計画を立て迅速に対応し、学生支援、教育環境の改善など学生や保護者に対する満足度の向上につながる改善及び社会や地域への貢献に関しては、継続的な取り組みができるよう体制を整える。地域のニーズに対応する学科の改編や新設及び財務の安定化に関しては、中長期的な計画に基づき積極的な姿勢で臨む。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	【抜粋(別紙参照)】1. 学生等に対して教育理念等を明文化し、周知徹底を図っているか。(学生便覧等) 2. 教職員に対して教育理念等を明文化し、周知徹底を図っているか。(教職員手帳等) 3. 学外の方に対して教育理念等を明文化し、公表しているか。(HP、パンフレット、募集要項等)
(2) 学校運営	【抜粋(別紙参照)】1. 組織機能図があるか。 2. 学校の年間スケジュールはあるか。 3. 分煙・禁煙等に関する規定が文書化・掲示されているか。
(3) 教育活動	【抜粋(別紙参照)】1. 育人人材像に向けた修業年限分のカリキュラムが文書化されているか。 2. カリキュラム作成のために複数のメンバーによりカリキュラムの作成が行われているか。(カリキュラム作成委員会等) 3. カリキュラム作成メンバーの中に高校生の現状、社会ニーズを反映させるために複数の内部職員をいれているか。
(4) 学修成果	【抜粋(別紙参照)】1. 学生の就職に関する目標を設定したか。 2. 学生の就職に関する目標に対して教職員に共有されているか。 3. 学生の就職活動に関する記録がなされているか。
(5) 学生支援	【抜粋(別紙参照)】1. 入学予定者に対し学習指導・支援等は行われているか。 2. 入学者に対し学習、学生生活のためのオリエンテーションは行われているか。 3. 担任による面談が定期的に行われているか。
(6) 教育環境	【抜粋(別紙参照)】1. 図書室・図書コーナー等があるか。 2. 学生が利用できる参考図書、関連図書は備えられているか。 3. 就職支援を行う指定された場所があるか。
(7) 学生の受入れ募集	【抜粋(別紙参照)】1. 学校案内等には育人人材像が明示されているか。 2. 学校案内等には目指す資格・検定・コンペが明示されているか。 3. 学校案内等には学費・教材費等が明示されているか。
(8) 財務	【抜粋(別紙参照)】1. 年度予算、中期計画が策定されているか。 2. 予算は計画に従って妥当に執行されているか定期的に確認しているか。 3. 会計監査(内部・外部)体制のルールが明確化されているか。
(9) 法令等の遵守	【抜粋(別紙参照)】1. 定期的に防災訓練を実施しているか。 2. 個人情報保護規程が文書化されているか。 3. ハラスメントに関する規定が文書化されているか。
(10) 社会貢献・地域貢献	【抜粋(別紙参照)】1. 目標・計画に基づく社会的活動(地域活動、地域貢献、ボランティア活動等)を実施しているか。 2. 地域社会の行政、商工業、教育機関、文化団体等へ加盟しているか。 3. 上記において定期的な会合に参加しているか。
(11) 国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

自己点検・評価結果をもとに、学校運営に関わる意見を様々な視点から広く聴取し、早期に改善を図るべき事項と中長期に対処すべき事項を区別した上で、当校の教育の質を維持・向上させるために、具体的な学習環境や教育体制の整備計画を立て、実行していく。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和2年5月1日現在

名 前	所 属	任 期	種 別
菅井 智恵	保護者	令和2年8月1日～令和4年7月31日(2年間)	PTA
元吉 太郎	旭二丁目町内会	令和2年8月1日～令和4年7月31日(2年間)	地域住民
高橋 健太	monoAI technology株式会社 漫画関係	令和2年8月1日～令和4年7月31日(2年間)	地元企業関係者
山下 智徳	建築生活空間研究企画室 代表 建築関係	令和2年8月1日～令和4年7月31日(2年間)	地元企業関係者
高橋 和之	グラフィスデザイン事務所 代表 グラフィックデザイン関係	令和2年8月1日～令和4年7月31日(2年間)	卒業生
國澤裕貴	高知県自動車整備振興会理事	令和2年8月1日～令和4年7月31日(2年間)	地元企業関係者
山本 晋爾	株式会社RT 代表取締役社長	令和2年8月1日～令和4年7月31日(2年間)	地元企業関係者

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(学校関係者評価結果の活用状況)

自己点検・評価結果をもとに、学校運営及び各学科に関わる意見を様々な視点から広く聴取し、早期に改善を図るべき事項と中長期に対処すべき事項を区別した上で、当校の教育の質を維持・向上させるために、具体的な学習環境や教育体制の整備計画を立て授業シラバスの見直しや校務分掌で実行していく。

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他( ) )

URL: <https://www.ryoma.ac.jp/disclosures/index.html>

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

企業等と密接かつ組織的連携体制を確保し、より質の高い教育を学生に提供することを目的として、企業等の学校関係者に対して、学校の教育活動、その他学校運営の状況に関する情報を積極的に提供する。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学園概要、学校紹介、校訓(校長挨拶)
(2) 各学科等の教育	学科紹介・概要(目指す仕事・目標資格・年間スケジュール等)
(3) 教職員	教員名簿
(4) キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育、就職指導・就職サポート
(5) 様々な教育活動・教育環境	キャンパスライフ、施設・設備
(6) 学生の生活支援	龍馬学園奨学金、さくら奨学金、学園指定・推薦ワルームンション
(7) 学生納付金・修学支援	入学金・学費、学費サポート(特待生制度・各種奨学金制度)
(8) 学校の財務	資金収支計算書、消費収支計算書、貸借対照表
(9) 学校評価	自己点検評価結果・学校関係者評価結果
(10) 国際連携の状況	
(11) その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

URL: <https://www.ryoma.ac.jp/cid/index.html>

## 授業科目等の概要

(文化・教養関係専門課程 グラフィックデザイン科) 令和元4年度														
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			MAC Photoshop 実習	Photoshop CC に関する基本的な使用方法や知識を身につけ、検定練習や作品の制作を行う	1前後	71	△		○	○		○		
○			MAC Illustrator 実習	Illustrator CC に関する基本的な使用方法や知識を身につけ、検定練習や作品の制作を行う。	1前後	100	△		○	○		○		
○			広告実習 1	企画立てから制作を通じて、グラフィックデザイナーに必要とされる思考力と、それを的確に表現するための制作技術（サムネール・カンブ等）について学習する。	1前後	74	△		○	○		○		
○			ベーシックデザイン	デザインの基本的なルールや考え方、道具、画材の使い方を学び、作品を制作するための技術と知識を習得する	1前後	61	△		○	○		○		
○			印刷学	グラフィックデザイナーにとって最重要課題である、デザイン印刷制作について学習する。デザイン・製版・印刷について、より良い印刷物をスムーズに制作する工程他、DTPでの作業の流れや、その分担を学習する。	1前後	36	○	△		○			○	
○			広告論 1	広告等、商業デザインとは何かを理解させていきます。イラストや写真、コピーなどをコンセプトに沿って組み合わせることでより効果的な広告が出来上がるということを伝えていきます。	1前後	35	△		○	○			○	
○			色彩演習	色彩に関する基本的な理論や体系的な知識を身に付ける。カラーカード・絵具（画材）などを使用する実習を行う。	1前後	99	△	○		○			○	
○			デッサン	人物クロッキー、鉛筆デッサン	1前後	66			○	○			○	
○			コピー&プランニング 1	グラフィックデザイナーに求められる上記の基礎を身に付けるとともに、広告における企画の立て方、情報収集/発信の仕方、最新メディア事情などを学びます。文章を書くことが身近になる・好きになる授業を目指します。	1前後	82	○		△	○			○	
○			写実実習	写真とデザイン	1前後	85	△		○	○			○	
○			一般教養	前期は、各科で必要とされる基本的な国語、数学、現代社会についてそれぞれの重要な項目について再確認をし、問題演習等を通じて就職試験にも備える。国語、数学、現代社会について基本的な事項について理解する。	1前後	36	○			○			○	



○	アドバタイジング	ロゴマーク、ポスターやフライヤーなどの広告媒体をテーマに基づき制作。ターゲットに訴えかけるための方法をいろんな角度から考える。	2 前後	201		△	△	○	○			○		
○	イラストレーション	挿絵、本の装丁、絵本などの制作を通して、様々なニーズに対応できるイラストレーションについて学ぶ。《デザイン、印刷までを意識したイラストレーション》	2 前後				△		○	○			○	
合計			27科目		1977									

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
各授業科目に係る出席時数が実授業時間数の10分の9以上かつ各授業科目100点を満点とし60点以上であること	1 学年の学期区分	前後期
	1 学期の授業期間	前期12週 後期24週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3 (3) の要件に該当する授業科目について○を付すこと。